関西国際空港

【実施主体：個社】

関西国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ	受託料金の引き上げ	契約単価の引き上げ	
		賃上げ等処遇改善や人材確保等の経費拡大を目的に受託料引き上げの交渉を実施	昨年より、コロナ禍の影響でR2より据え置きとなっていた保安検査の受託料の交渉で約15％の引き上げを要求。	
		航空会社とのグラハン契約内容の変更	・新規受託時に従来に比べ受託料を引き上げて契約 ・既存顧客会社に対しても、受託単価引き上げに向け交渉を実施	
		外航受託料の引き上げ	本社にて、外航受託料の引き上げ交渉を実施。	
		自社グループ空港運営会社への委託料の引き上げ	本社にて、自社グループ空港運営会社の処遇改善の原資として委託料の引き上げを実施。 R6年度の委託料金引き上げを調整中。	
		（継続取組）インフレ等に基づく価格改定の実施	従来より、必要人員、GSE等に基づく受託金額を設定。昨今のインフレ状況等を勘案した算出基礎単価の改定を実施し、それに基づくて新規受託価格の見直しや価格改定を実施	
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定　等）	航空会社とのグラハン契約内容の変更	・受託料引き上げとあわせて、安全を担保した上でのサービスレベルを必要最小限にして、より少ない人材でハンドリングできる契約への変更	
		外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項の導入を検討中。	
		検査会社への委託契約条件の設定	本社にて、国内定期航空保安協議会を通じて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料金の引き上げを実施。	
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	各種手当の拡大	・資格手当の増額 ・勤務手当の拡大	
		社員寮費の社員負担額の上限設定	・上限を社員負担50％とする （従来は5年目以降に毎年10％の負担増）	

【実施主体：個社】

関西国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	就業時の休憩室・更衣室・仮眠室の環境改善	全職員に対し職場環境改善アンケートを実施。家電備品の更新等、要望の多い件を中心に改善を実施している。検査場等の労働環境に付いては関西エアポートへ随時要望している。	
		職場環境改善に向けた取組の推進	・暑さ対策のための空調服の導入済 ・移動式コンテナハウスの導入済（2025/1月）	
		処遇の改善	初任給増額、公休数増を検討	
		処遇の改善	R5年度ベースアップ、初任給アップ、公休数増を実施	・2024年度より初任給改善 ・公休数　116日（108日から、8日増）
		処遇の改善	R6年度初任給アップ、変則勤務手当増などについて調整中	
		空港従業員のみが立ち入る区画内を中心とした環境改善をKAPに要望	煙草臭漂う休憩室の改善要望 和式便器が残存するトイレの改善要望 T2　国内線チェックインカウンターエリア・ゲートエリアの環境改善（温度）	
		ランプ事務所のスペース拡充	グランドサービス部事務所横の空室借り増し	2024年度より賃借スペース増床
		自社グループ休憩室の環境改善	増席、カフェ風など、従業員の疲れを癒し、ワクワクする休憩室への改良を検討	
		嘱託社員の正社員化	嘱託社員を正社員化することで既存社員の離職対策とし、 安定した要員確保を図る	
		賃金規程の改定	2025年4月に基本給与の改定	
【短期】	職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	ロスターリングシステムの導入	これまでエクセルで管理していた毎月のロスター、シフトについて、新規にシステムを導入し、より効率的なアサインを追求。	

【実施主体：個社】

関西国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	職員の配置及び勤務時間の平準化の為のデータ化	日々の勤務状態をデータ化し具体的に可視化することにより全職員の業務種別の偏重や残業時間の集中を抑制している。	
		生産量ならびに生産対応状況の把握	生産対応状況を毎月把握。	
		生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、自社グループ空港運営会社の生産対応状況を毎月把握。	
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制	検査場の運用レーン数の調整	KAP・KOSとの日常的な調整により、職員の月間残業数過多により過剰に負荷がかかる事の無いよう運用レーン数を決定している。	
		計画的な増便調整	・自社本部と連携し、各外航社の増便時期を調整	
		業務内容の精査と整理	外航社と連携し、効率的な業務区分けの精査を行い、グラハンに集中していた業務内容を他社や航空会社対応に変更した（BDO、LSデリバーなど）	
		外航側からの応援要員派遣	本社にて外航と調整し、不足人員を外航側からの応援要員で暫定的に充足。	
【短期】	採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用） 等）	来年度の採用強化	今年度専門学校や大学との連携をより強化し、来年度の推薦枠を拡大する。	
		派遣会社との契約拡充	複数の派遣会社との契約を拡充し、安定的な人材確保に繋げる。	
		空港業務の魅力発信による将来人材の確保	・空の日フェスティバルに出展 ・お仕事体験「みらいのたからばこ」に出展 ・小学生に対する「航空教室」開催 ・インターン（8月、1月、2月）	2024年中に各取り組み実施済み
		海外人材採用	日本国内のみならず、海外での直雇用の採用にも進出し、海外人材の確保に繋げる。	

【実施主体：個社】

関西国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用） 等）	リファラル採用の導入	採用枠を拡大させるともに定着率の向上を図るため、リファラル採用を導入。	
		ウェルカムバック採用の導入	社員の縁故、元社員の応募からの人材登用、社員定着率の向上。	2024年度　1名採用
		月2回の入社・入社研修実施	当社トレーニングセンターでの初期研修を月2回実施することで、採用機会を月1度から2度へ拡大し、採用可能人員数を増加	
		採用活動の推進	通年で中途採用活動の実施 合同企業説明会への参加	
		あらゆる方法による採用活動の推進	・新卒採用、中途採用ともに年間を通して実施中（職場見学会も積極的に実施） ・空港主催の合同セミナーへの参加 ・カンバック制度の導入 ・その他、韓国・台湾等の海外よりの直接採用の強化	
		アルムナイ採用の実施	当社を退職した社員の復職を促し、即戦力人材としての採用スキームを構築。 当社退職者への募集告知を案内。	
		既卒採用の実施	経験者採用の実施。 ※既卒採用募集～採用実施について記載	
		ワークプレイス制度の実施	自社グループとしてリテンションを図るべく、働く場所の事情に応じたグループ内転籍制度の運用を実施。	
		コロナの影響に伴う希望退職者への復職（再入社）の呼びかけ	希望退職者への電話による再入社の勧誘 ジョブリターン制度により希望退職前の雇用条件で再入社 （希望退職の実施時点で制度導入済み）	
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）	技能別での集中型初期導入研修の実施	旅客、ランプの技能別での集中型の初期導入研修を本社主導で開催（これまでは各支店で個別に対応）	

【実施主体：個社】

関西国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）	言語が要因となる育成スピード鈍化の防止	教育の補助教材として、基礎業務に関わる英語字幕付き動画を作成。	
		普通免許を持たない外国人労働者の運転資格要件の緩和	エリア限定（貨物上屋内）でフォークリフト運転技能講習修了証だけでフォークリフト運転を可能にすべくKAP運用部と調整、運用を開始	
		普通免許を持たない外国人労働者の運転資格要件の緩和	エリア限定（貨物上屋内）でフォークリフト運転技能講習修了証だけでフォークリフト運転を可能にすべくKAP運用部と調整を実施中	
		言語が要因となる育成スピード鈍化の防止	英語教材の策定ならびに補助教材としての基礎業務の動画化による理解促進を検討	
		トレーニング方法の変更	・安全性を担保した業務を限定したトレーニングを実施し、当該業務で一旦現場に投入 ・現場業務に従事しながら、別業務のトレーニングを実施して、スキルアップを図る ・小型機の就航が多くなっているので、小型機に特化したGSE運転トレーニングを強化し、スキルホルダーの早期育成	
		同時訓練による工数短縮	同一システムを使用するキャリアの訓練時間短縮システムに関する座学・OJT訓練時間を短縮	
		同時訓練による工数短縮	HCとSPCを同時訓練に変更し時間短縮	
		座学訓練のオンデマンド化	・一部（機内チェック教材）をオンデマンド化 ・現在、KIOSK操作方法の動画作成中 ・アイテムを増やしていく予定	
		係員の訓練時間の適正化	本社にて、受託にかかる訓練時間の短縮余地の精査を実施。	
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	個別契約の解約等	業務時間の偏りがある時間帯の契約の見直し	

【実施主体：個社】

関西国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	オンデマンドによる弾力的な検査場の開閉	国際線乗継検査場および国際線乗継旅客の長尺受託手荷物検査に付いては、検査の必要に応じて依頼が有った場合に、他の検査場担当者が対応している。	
		顧客航空会社への提案	・顧客の増便依頼に対して、就航時間帯の提案（可能な限り受託できる時間帯での要請）	
【中期】	長期に誇りをもって勤められるキャリアパスの整備	メリハリのある給与体系の検討	・スキルに応じた手当の導入済 ・旅客部門の手当増額（2025/4月より）	
		人材育成プログラムの策定	キャリアパスモデルの整備および階層別研修の体系化による教育・評価の関連性を示すことで、能力伸長プロセスや会社として求めるキャリアアップを提示し、スタッフの自律的な成長を支援。	
【中期】	ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	両立支援制度の拡充	子育て支援の一環として年齢制限を拡充	
		介護支援制度の拡充	仕事と介護の両方を支援するため、制度の改定	
		事務所設備の改善	デジタル化も含め、老朽化備品の更新（2024年度）	
		空港会社との会議体を通じた協議	顧客視点をもとにした意見具申	
		iPadを活用した新しい働き方	いつでも、どこでも、だれでも簡単に最新の情報が共有し合える環境整備を行うためiPad導入	
		RPAイノベーター（自社グループ内で）の養成と実践	単純作業のRPA化による自働化実施	

【実施主体：個社】

関西国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【中期】	ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	空港会社との会議体を通じた協議	顧客視点をもとにした意見具申	
		処遇改善を前提とした生産計画	公休増、有休取得増を見据えて採用数増加	
		社内諸制度の変更	社員が納得のいく職掌選択が出来る環境を整え、転勤を理由に退職する社員の減少を図るため、多様な社員ニーズに対応する「働き方」を提供し、満足度の高い職場環境を実現。	2024年4月1日制度施行
		自動化・省人化の推進	既製品の省人省力機材の導入を加速。	
		処遇改善を前提とした生産計画	公休増、有休取得増を前提とした生産計画実施	
【中期】	特定技能制度の積極的な活用	特定技能ビザによる外国人の採用	・従来の技能実習（ベトナム）に加え、特定技能（ネパール）による受入れ（2023/12月より順次　36名受入れ済） ・技能実習生の特定技能ビザへの切替を実施	
		特定技能ビザによる外国人の採用	・2024年度、特定技能（ネパール）による受入れ（51名内定⇒10名入社済み） ・技能実習生の受入れも継続 ・採用スキームが構築できているため、次年度以降も安定的な人材確保が可能	
【長期】	短時間労働やマルチタスク化を含む多様な働き方の実現			
【長期】	業務内容や技術に応じた賃金の設定			

【実施主体：個社】

関西国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	人件費圧縮競争を防止する観点からの多重委託構造や雇用慣行・契約慣行の見直し（保安検査における長い拘束時間の見直し　等）			

【実施主体：空港会社等】

関西国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	空港内の労働環境の改善	BHSエリア暑さ対策の実施	業務用扇風機を配置済み。	
		トイレの改修	トイレの改修を開始済み。	
		共通業務の集約化（車椅子対応業務）	車いす利用の要望を受けた航空会社やハンドリング会社からの依頼を受け、車いすの手配、移動サポートなどを2024 年 8 月 1 日(木)より当社で集約実施。	
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動（空港短期の合同説明会　等）	SNSを活用した採用広告発信	各種SNSから空港求人サイトへの誘因を実施	
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動（空港短期の合同説明会　等）	合同説明会の実施	関西国際空港の事業者を集めた合同企業説明会を実施。	
【短期】	マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】	空港WGの活動推進			
【中期】	GSE車両の共有化・共用化の推進	資機材の共有化	GH社で共有化のニーズが一致する備品類について、KAPが調達し、共有資材として提供を25年2月より実施開始。	
【中期】	男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備　等）			

【実施主体：空港会社等】

関西国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	スマートレーン等の先進機器の導入	関西国際空港 T1 リノベーション	T1 4階国際線保安検査場について、従来よりも長尺のスマートレーンを導入し、2024 年 9 月 3 日(火)に一部先行オープンを実施。	
【長期】	サプライチェーン等を意識した効率的な設備配置に向けた調整			

【実施主体：地方自治体】

関西国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーションの強化（人員体制等の正確な現状把握　等）			
【短期】	空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施			
【短期】	空港業務支援も誘致支援の一部と位置づけた上での関係部局（観光、産業振興　等）と連携した支援の実施			
【短期】	空港WGの活用推進			
【中期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討（空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援　等）			
【中期】	特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	持続可能な観点からの戦略的な路線誘致（交通部局と観光部局との緊密な連携）			
【長期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の充実			

【実施主体：国】

関西国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	各空港におけるベストプラクティスの横展開（事例収集・整理　等）			
【短期】	地域の意欲的な取組への積極的な協力（空港説明会への参画等）			
【短期】	生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援（先進機器の整備補助　等）			
【短期】	各主体による取組の重要性の発信	空港業務に携わる方々への感謝を表す「ありがとうポスター」の所内掲示	空港業務に従事する方が『この仕事に意味がある』と実感できるよう、感謝の気持ちを表すことを促進するための啓発活動を実施。	
【短期】	空港WGの活用推進	活用内容についての情報収集	空港WGの活用内容について事務局より情報収集を行い、加えて必要に応じて意見を行う体制をとっている。空港WG内への周知、公募応募の内容確認など、仕組みとしての機能は果たしていると思量する。	
【中期】	空港DXの導入促進に向けた実証実験			
【中期】	更なる支援措置等の検討（人材確保・育成、業務効率化、GX／DX　等）			
【長期】	先進技術等の開発・実証、更なる活用の推進	空港WG構成員への情報共有	国交省HPに公表された「空港業務DXの推進」資料をもとに空港WG内へ共有を行うとともに、関係者の取組状況の把握に努めた。	

【実施主体：国】

関西国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【長期】	業界ルール整備を前提とした、専門学校との連携強化や共同訓練の推進	空港WG構成員への情報共有	第9回 持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会において、「空港業務における現状と取組状況」中、「空港グランドハンドリングにおける特定技能外国人の受入れ」が出されたため、空港WG内へ共有を行うとともに、関係者の取組状況の把握に努めた。	
【長期】	処遇改善・業務効率化等に必要な保安関係料金の適正水準のあり方の検討	空港WG構成員への情報共有	第10回 持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会において、「空港における旅客の保安検査の実施主体の円滑な移行に向けた実務者検討会の開催状況（報告）」が出されたため、空港WG内へ共有を行うとともに、関係者の取組状況の把握に努めた。	
【長期】	必要に応じた制度的見直し	空港WG構成員への情報共有	第10回 持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会において、「制度的措置の方向性（報告）」が出されたため、空港WG内へ共有を行うとともに、関係者の取組状況の把握に努めた。	
【長期】	空港に関する基礎的データの収集・整理（職員数、年齢構成、年代別年収、離職率　等）	空港WG構成員への情報共有	第9,10回 持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会において、「空港業務における現状と取組状況」が出されたため、空港WG内へ共有を行った。 また、本省にて令和6年7から8月に実施された「空港業務の持続的発展に向けた取組に係る情報収集」（アンケート）の取り纏め結果についても、空港WG内へ共有を行うとともに、関係者の取組状況の把握に努めた。	